

政令市等各都市の傾向

参考資料

都 市 名	設定基準 (基本方針等)	使用料設定設定状況		今後について(使用料見直し・施設のあり方検討)				
		博物館類似施設(H24.11調査時点)		動物園(現時点)	見直しの 有無	今後について	市内外区別(全体)の考え方	
		主に文化施設	減免					
1	札幌市	×	子ども無料(中学生以下)	無 ※一部高校教育活動減額	円山動物園 無料(小中学生)	有	H20年度に使用料見直しを実施。H24年度はより「受益者負担」「公平性」の観点から見直した。	統一的な方針はない。 現状:市内外区別あり(施設の性質による)
2	仙台市	×	子ども有料(幼児無料)	市内教育活動 仙台都市圏14市町村(小中学生無料)	八木山動物園 低額(小中学生)※未就学児無料	有	検討中	統一的な方針はない。 現状:市内外区別あり(施設の性質による)
3	さいたま市	検討中 (H26末)	子ども無料	無	—	有	使用料設定基準を踏まえ、検討している。	統一的な方針はない。 現状:市内外区別あり(施設の性質による)
4	千葉市	○	子ども有料(幼児無料)	・学校行事 ・ふれあいパスポート(市内小中学生)は土曜免除	千葉市動物公園 低額(小中学生)※未就学児無料	有		現状:市内外区別あり (市外在住者 料金の2倍を基本) (子ども料金は1/2が基本)
5	横浜市	○	子ども有料(小学生無料)	・市内教育活動(小中学生)は免除、高校生は減額 ・土曜日は高校以下免除	金沢動物園、よこはま動物園 低額(小中学生)※未就学児無料 野毛山動物園:全て無料	通常の見直し		統一的な方針はない。 現状:市内外区別あり(施設の性質による)
6	川崎市	×	子ども無料(中学生以下) ※一部有料	無	夢見ヶ崎動物公園 利用者全て無料	無		統一的な方針はない。 現状:市内外区別あり(施設の性質による)
7	相模原市	○	子ども無料	無	—	有	現在、コスト計算等に基づき、導入に向け作業中	統一的な方針はない。 現状:市内外区別あり(施設の性質による)
8	新潟市	準備中 (H27導入)	子ども有料(幼児無料) ※一部無料	・小中学校の教育活動及び土日祝は免除。	—	有	使用料設定基準導入に向け、準備中。	統一的な方針はない。 現状:市内外区別あり(施設の性質による)
9	浜松市	×	子ども無料(中学生以下)	無	浜松市動物園 無料(中学生以下)	有	市内外の区分、減免規定の見直しに向け検討中。	統一的な方針はない 現状:市内外区別あり(施設の性質による)
10	名古屋市	○	子ども無料(中学生以下)	市内教育活動(高校生)は低額	東山動物園 無料(中学生以下)	通常の見直し	消費税(H26.4)の導入に合わせ再検討中。	現状:市内外区別あり(施設の性質による) H18(高齢者:市内無料、子ども:無料)見直した
11	京都市	×	子ども無料(市外有料) ※一部有料	市内在住・通学18歳以下は無料	京都市動物園 無料(中学生以下)	—	統一的な見直しの方針は検討していない。	
12	大阪市	○	子ども無料(中学生以下)	無	天王寺動物園(H25年度～) 低額(中学生以下)※市内は無料	有	H24.7 行革プランを策定。 H26年度末までに見直しを完了予定。	統一的な方針はない。 現状:市内外区別あり(施設の性質による)
13	堺市	検討中	子ども有料(幼児無料) ※企画展は有料	・市内小中学生(教育活動)は免除 ・市内小中学生(在住)は免除 ※施設により異なる。	—	有	設定基準策定に向け検討中。	統一的な方針はない。 現状:市内外区別あり(施設の性質による)
14	神戸市	×	子ども有料(幼児無料)	・のびのびパスポート(近隣6市1町)、小中学校の教育活動は免除	王子動物園 無料(中学生以下)	—	統一的な見直しの方針は検討していない。	統一的な方針はない。 現状:市内外区別あり(施設の性質による)
15	岡山市	×	子ども有料(幼児無料) 子ども無料(中学生以下) ※設定半々	・市内小中学生の教育活動は免除	—	有	消費税(H26.4)の導入に合わせ、「受益者負担」「公平性」の観点から見直し中。	現状:市内区別あり(施設の性質による) 市内外区別含め(検討中)
16	広島市	×	子ども有料(幼児無料)	・市内小中学生(教育活動)は免除 ・こどもの日、土曜日は免除	安佐動物公園 低額(高校生以下)※乳幼児無料	通常の見直し	基本的な方針はあるが、明文化されてはいない。	統一的な方針はない。 現状:市内外区別あり(施設の性質による)
17	北九州市	×	子ども有料(幼児無料) ※企画展は有料	・市内小中学生(教育活動)は免除 ・たんけんパスポート(市内小中学生)で5回まで免除	到津の森公園 低額(高校生以下)※4歳未満無料	無		統一的な方針はない。 現状:市内外区別あり(施設の性質による)
18	福岡市	検討中	子ども無料(中学生以下)	無	福岡市動物園 無料(中学生以下)	有	「受益者負担」等を踏まえ、見直し検討中	統一的な方針はない。 現状:市内外区別あり(施設の性質による)
19	熊本市	準備中 (H25導入)	子ども有料(幼児無料) 無料(中学生以下) ※割合(有:無=3:2)	・4市(鹿児島、熊本、福岡、北九州)小中学生は免除	熊本市動植物園 低額(中学生以下)※未就学児無料	有	今年度に策定する予定(H25年度中)	統一的な方針はない。 現状:市内外区別あり(施設の性質による)
その他	富士市	○	データなし			無		受益者負担の観点から検討したが、施設状況から徴収を見送った
	掛川市	○	データなし			無	現在、見直しを行う予定はない。	統一的な方針はない。 現状:市内外区別あり(施設の性質による)
	旭山動物園				無料(中学生以下) 市内居住者(優遇あり)			

※ 各都市の施設使用料の基本的な考え方で赤字は原則有料、青字は原則無料としている。(全ての施設ではない)

※ 政令市のうち使用料設定基準・基本的な考え方を策定している:6都市(千葉、横浜、相模原、名古屋、大阪、静岡)。今後、設定に向け準備(検討)している:5都市(さいたま、新潟、堺、福岡、熊本)

※ 政令市のうち行財政改革または「受益者負担の原則」に基づき、「見直した」または「見直しを検討している」(12都市)